

ミニトマトの露地疎植栽培（ソバージュ栽培）におけるへたつき出荷向け品種の特性

【1 成果の概要】

県内で主に栽培されているへたつき出荷向けミニトマト3品種について、露地疎植栽培（通称：ソバージュ栽培）での特性を以下のとおり明らかにしました。

- (1) 8月中旬以降に収穫となる作型で栽培した場合、3品種とも 3,000kg/10a 以上の良果収量を得ることができます（表1）。
- (2) 「キャロルスター」、「サンチェリーピュアプラス」は良果率が高く有望です（表1）。
- (3) 糖度（Brix）は「キャロルスター」が他の供試品種より高いです（表2）。一方でソバージュ栽培による果実糖度は、同品種の雨よけハウス栽培の果実糖度よりも低くなります（データについては試験成果書をご参照ください）。
- (4) 「キャロルスター」は定植日から「良果総収量の50%到達時」、「90%到達時」までの日平均積算気温が他の2品種より多く要するので、定植を早めるなどの調整を行って下さい（表3）。

表1 果実収量の品種間差異（2016～2017年）

年次	品種	10aあたり				良果率 (%)	障害果率 (%)	良果平均1果重 (g)	耕種概要
		良果重量(kg)							
		8月	9月	10月	合計				
2016	キャロルスター	268	3,357	1,852	5,477	90.4	5.6	11.9	定植日：2016/6/27、2017/6/26 誘引方法：直立ネット誘引 畝間：1.8m、ベッド幅：50cm、 ネット高さ：150cm、株間：1m 栽植密度：550株/10a 2016年は接木栽培（台木Bバリア） 2017年は自根栽培。
	サンチェリーピュアプラス	356	4,046	994	5,396	89.7	8.5	10.9	
	キャロル10	242	3,279	413	3,934	75.6	19.7	11.1	
2017	キャロルスター	156	1,615	1,463	3,234	85.2	12.2	11.1	
	サンチェリーピュアプラス	135	2,496	601	3,232	81.9	12.3	9.2	
	キャロル10	226	2,921	498	3,645	76.6	15.3	9.4	

表2 糖度の品種間差異（2016～2017年）

年次	調査日	品種	糖度 (Brix%)
2016	9/5	キャロルスター	8.0
		サンチェリーピュアプラス	7.7
		キャロル10	8.3
	10/26	キャロルスター	8.2
		サンチェリーピュアプラス	7.3
2017	9/21	キャロル10	7.5
		キャロルスター	8.8
		サンチェリーピュアプラス	7.9
		キャロル10	7.5

調査方法 各区良果10果について糖度（Brix）を計測して平均を算出。

表3 定植から各収穫期到達までの日平均積算気温

品種	日平均積算気温（℃）		
	収穫開始時	良果総収量の50%到達時	90%到達時
キャロルスター	1,183 (±70)	2,066 (±17)	2,423 (±25)
サンチェリーピュアプラス	1,161 (±75)	1,997 (±25)	2,269 (±46)
キャロル10	1,093 (±73)	1,889 (±21)	2,170 (±44)

日平均積算気温は日平均気温（場内計測データ）を定植日から積算したもの。定植時の苗姿は開花直前～開花始め。カッコは標準誤差を示す。

【2 留意事項】

- (1) 栽培にかかる留意事項は平成26年度試験研究成果の留意事項及び「岩手県露地ミニトマトソバージュ栽培の手引き（平成30年1月発行）」を参照して下さい。
- (2) へたつき出荷用品種は「平成27年度主要野菜の品種別作付実態調査結果」に基づき、作付上位3品種について供試しました。
- (3) 定植後に遅霜などにより収穫前の生育に障害を受けた場合、各収穫期に示した日平均積算気温から外れる場合があります。

【3 適用地帯または対象者】 県内全域の指導機関

担当研究室 技術部 野菜花き研究室

〒024-0003 北上市成田20-1 TEL. 0197-68-4420 FAX. 0197-71-1083